
クラスメートが僕を狙う日。

祥@龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クラスメートが僕を狙つ日。

【Zコード】

Z0174Z

【作者名】

祥@龍

【あらすじ】

僕達の関係は、とある謎のチャットビダンボール箱で狂った。

第一話 チャットにて。

とあるチャットでの出来事 。

カズ【…と、きょうはこんないちにちでした】
よしん（笑）【俺ら親友なんだし敬語よせったまには漢字変換しよ
うぜ？】

カズ【ぱそこんにはなれてないので】
よしん（笑）【相変わらず読みにくいw】

A Y Aが入室しました

よしん（笑）【ちわー】

カズ【こんにちは、きの‘つもいましたよね】

A Y A【はい。今日は一つ疑問があつてきました。】

てらてるが入室しました

この世のトップが入室しました

てらてる【今回も皆様に会えて光榮です。…が、なぜ貴方が私と同じタイミングで入つて来たのですか？】

この世のトップ【お前に関係無いしw】

てらてる【もう勝手にしてください。いきなりですが、私は皆様に
聞きたい事があるので。】

カズ【なに】

よしん（笑）【もしかしてもしかしてー！？A Y Aさんと一緒に
？w】

A Y A【てらてるさんも同じですか？】
てらてる【何をですか？】

A Y A【このチャット…私達含め、特定された7人の人達しかでき

ないみたいなんですよ。管理人さんも不明だし…。】

てらてる【全く貴女と同じです。何故特定された人物しかできないのか。ところで、皆様、このチャットを知ったキッカケは?】

カズ【ともだちにおしえてもらつた】

よしん（笑）【えー俺は、調べてたらでてきた（笑）あと俺、カズと友達なんスよー】

AYA【私は、知らないメールアドレスの人からメールが来て…内容が『httpt://xxxxxxxxxxxxxx/xxxxx...』の所に行け』でした。】

てらてる【この世のトップさんは?】

この世のトップが退室しました
てらてる【全く、あの人は。AYAさん、そのメールどんな人からでした?】

AYA【変なアドレスでしたので覚えてません…。ですが、最後の一言だけ覚えてます。】

よしん（笑）【何何い??】

AYA【

＼kanrinin／

】

AYAが退室しました

よしん（笑）【あ、消えた。】

カズ【じぶんもそろそろたいしつします、では】

カズが退室しました

よしん（笑）【んじゃ俺もノシ】

よしん（笑）が退室しました

てらてる【…＼kanrinin／ですか。…もしゃこのチャットの管理人?】

てらてるが退室しました

第一話 シンプルに

「何様のつもり！？」

「浅間のつもり。」

僕はいつだってそう言つ。

だつてや、「浅間和彦」以外何様でもないもん。

僕の学校生活、プライベートは、いたつて普通だ。

僕だって地味に生きてるワケだし、イジメとかそういうのは全然受けなかつた。

できれば喧嘩沙汰なんて避けたいけど、巻き込まれて、結果はすぐ終わる。

地味に生きて普通な人生を満喫してゐるのに、周りの捻くれ者の人達は僕の進路を普通に阻む。

関係の無いトラブルに巻きこまれたり、同じクラスの女子から「好き」と告白されたし、無理矢理部活に入らされたり。

でもまあ、まだそれは少し捻くれた人達だ。

マシと言えば、親友が幼なじみぐらい。

もつと捻くれた者は……秘密。

今は言えない。これは、ほんの序章にしか過ぎないから。

歪んだ物語は歪んだ形となつて消えて行く。
それも、誰かの人生を歪ませて。

ある日家の前にダンボール箱が合つたんだ。

第三話 痛哭するヤツ

俺、『此花良明』はこなづのじゅうめい！

別に悩みなんて無えし、友との友情は深まるばかり！
おまけに、先週、クラスのやつに告白されたんだぜ！

俺ってホントにラッキーだー！

この世に生まれて来て良かったああーーー！
お父さんお母さんありがとうおおおーーーー！

え？俺の事ウザいって？

んなこと言ひなよなー。

俺だってさ、自分で『幸せ』って言つてるナビ、本当は苦労してる
んだぜ。

わざわざ言つたよつこ、悩みなんて無いつこつのは、なのつこつのは、悩みを作らな
いように努力してるんだ。

友情は深まつのは…たぶん俺がいつも以上に遊びに誘つたせいかな。

えーっと、クラスのヤツに告白されたのはな、俺がその子にずっと
話しかけてたからだ。うん。

白鳥つてよ、綺麗に泳いでるみてえだけじ、水面下では必死にバタ

足してんだぜ？

あ、そだ。

話変わるけど、俺の親友がよーパソコンの使い方分かんねーみてえ
んだよー。

ま、親友以外ならいいけどよ……漢字変換しないんだよつづーーー
チヤツトとかでも読みづらいし……親友なのに敬語だし！

でも俺はあえて、あんまり親友に「漢字変換しる」とかは言わない。
たまーに言うだけかな。

……（笑）

ああー！俺が言いたいのは、努力するのは難しつてコト！
努力したら報われるらしいけど…努力するにつれて、苦労も着いて
来る。

え？なんでオチャラケな俺が真面目な事言つたつて？

それはこの物語を読んだらわかるよ。

ある日、俺は親友を裏切った。

第四話 悪人

ねえ知つてる？この噂。

家の前に、ドクロマークの付いたダンボール箱を置かれた人は中を絶対に見てはいけないんだって。

つてこの前、友達が言つてた。

もし、注文していた品物が入つてるダンボール箱が届いたのはいいんだけど…ドクロマークのダンボール箱？

一体、何が入つてるんだろう？

もしかして財宝！？ステキなドレスかなあ～？
浦島太郎みたいに老いぼれになっちゃうとか！？

想像する度たびにワクワクする。

あ、でも…そのダンボール箱を置かれた人は、必ず『悪人』になっちゃうんだって。

どうしてだろう？

もしも、私の友達が置かれたらどうしよう…。
友達が悪人になっちゃうよう…。ふえ～ん。

もう一度と、周りの人々が悪人にならないで欲しいな…。

私はもう…過去を振り返らないって決めたのに…あの頃の記憶が再び脳裏に浮かんだり消えたりする…。

怖いよ。暗い闇の中に独りぼっちになつているかのよつて怖いよ。

…今日は特別に、貴方だけに私の過去を教えてあげる。

この物語のキーワードになるかも知れないから。あ、なる「かも」だよ！？ならないかも知れないよ！

正直、私は学校ではアイドル的存在だ。

男子には「あーやん？今日も可愛いね～？」

と、毎日言われる。

女子には、「死ね！ブリッヂ子女！」

と、毎日言われる。

男子は「あー やんこと 富原 豪矢 ファンクラブー！」 つていうのを作つていて、召使いのよつこ、色々と私の手伝いをしてくれるの。でも、男子が居ない隙に、女子は私をイジメる。

でもまだ平氣だ。

ほとんどの女子は私をイジメるけど、一人だけ私を助けてくれた人が居た。

名前は「空城 光」。

ドSで女王様で、気が強い女子。

「あ？ あんた達さあ、私の可愛い下僕に何してんの？」

と言つて、助けてくれる。私、下僕じゃ無いんだけどなー（笑）もちろん、その迫力に勝る者は居ない。

その後、イジメはパツタリ終わった。

ある日、私は礼を言いに行こうとその子の所へ行つた。

その子はいつも屋上に居るらしい。

アニメや漫画でしか見た事が無い、ドSで女王様キャラの人。

その頃は、胸がドキドキしてたんだ。

「空城さん！」

屋上へ行くと、女子が空城さんを囲んでいたの。

それだけでは無かった。

私は思いがけない光景を見てしまったのだ。

空城光が飛び降りるところを。

幸い、死なかつた。

だが、空城さんは約1年の入院生活を送つた。

空城さんが入院生活を送つて いる間、学校中に変な噂が流れた。

『空城光は、家族を殺した。』

と。

空城さんが学校へ戻つたら、噂は影でだけ言われるようになった。
表で言つたら、空城さんに何か言われるから、皆怯えてると思つ。

今はもう噂はパツタリ消えて、空城さんはクラスの中心（女王様）的
的存在になっている。

私はあの頃の礼も言えないまま、今も空城さんを見ている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0174z/>

クラスメートが僕を狙う日。

2011年12月3日12時54分発行